nikko am

日興ＵＳグローイング・ベンチャーファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第１期（決算日2015年９月10日）

作成対象期間（2014年10月１日～2015年９月10日）

第１期末（2015年９月10日）	
基準価額	12,016円
純資産総額	47,979百万円
第１期	
騰落率	21.2%
分配金（税込み）合計	100円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ＵＳグローイング・ベンチャーファンド」は、2015年９月10日に第１期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後５年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

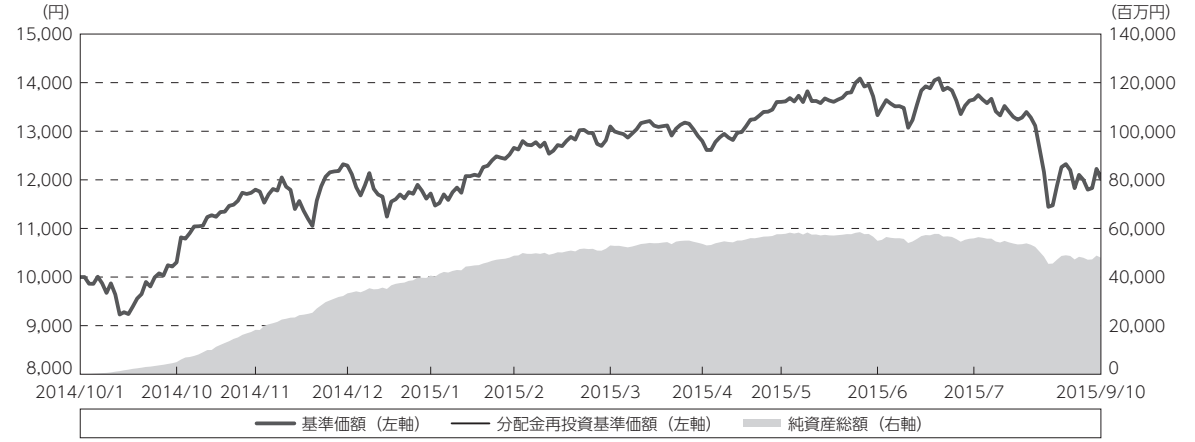
コールセンター　電話番号：0120−25−1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2014年10月1日～2015年9月10日）



設定日：10,000円
期　末：12,016円（既払分配金（税込み）：100円）
騰落率：　21.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、期末に12,016円（分配後）となり、分配金を加味した騰落率は＋21.2%となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後５年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。期中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・ヘルスケアセクターや一般消費財・サービスセクターなどの一部の銘柄の株価が堅調に推移したこと。
・為替相場が円安／アメリカドル高傾向で推移したこと。

＜値下がり要因＞

・中国などの景気減速懸念を背景に、期末にかけて世界的に株価が下落したこと。
・資源価格の下落を背景に、エネルギーセクターなどの銘柄の株価が軟調となったこと。

１万口当たりの費用明細

（2014年10月1日～2015年9月10日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	220	1.756	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(109)	(0.866)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(102)	(0.818)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(9)	(0.072)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.083	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(10)	(0.083)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	4	0.029	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(1)	(0.008)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合計	234	1.869	
期中の平均基準価額は、12,507円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2010年9月10日～2015年9月10日）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）当ファンドの設定日は2014年10月1日です。

	2014年10月１日 設定日	2015年９月10日 決算日
基準価額　(円)	10,000	12,016
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	100
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	21.2
純資産総額　(百万円)	150	47,979

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、騰落率は設定当初との比較です。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2014年10月1日～2015年9月10日）

（株式市況）

米国の株式市場では、米国経済のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の回復を背景に、2015年８月中旬まで株価は概ね堅調に推移しました。2008年の世界金融危機以降、米国では民間部門などにおいてバランスシートの調整が進展し、ファンダメンタルズ面で改善が継続しています。

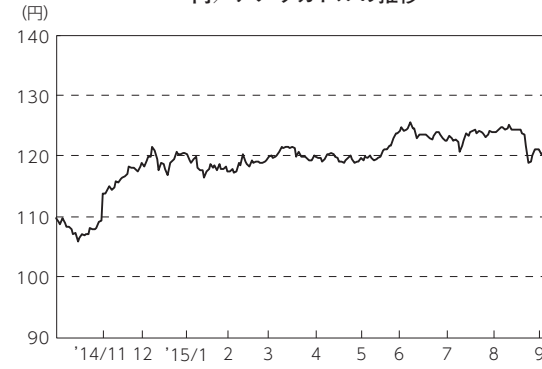
概ね堅調な企業業績、雇用環境の改善などが株式市場をサポートする大きな要因となりました。一方で、アメリカドル高の進行、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念、2015年後半に予想される政策金利の引き上げによる影響を懸念する動きから、株価指数で見ると概ねレンジ内での展開となりました。

期末にかけては、中国の人民元切り下げ発表を契機に、中国をはじめ新興国景気の減速が懸念され、世界的にリスク回避的な動きが強まったことから、米国の株式市場を含め世界的に株式市場が下落する展開となりました。

（為替市況）

当期における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2014年10月1日～2015年9月10日）

（当ファンド）

当ファンドは、「ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド）

当ファンドでは、ボトムアップによる銘柄調査により、イノベーションによって飛躍的な成長が見込まれる企業などに注目して運用を行ないました。

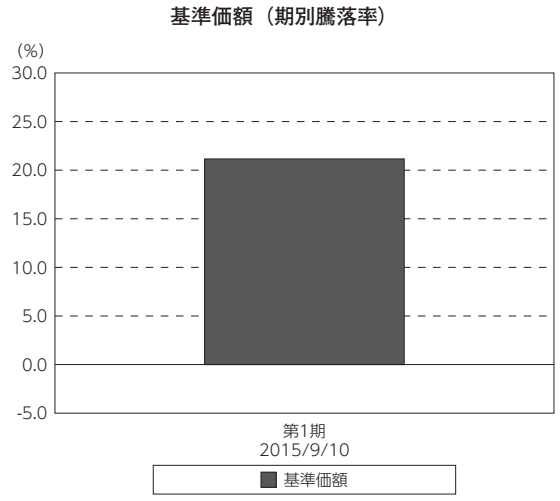
設定時から情報技術セクター、ヘルスケアセクター等の銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。期中には、好業績が評価されて株価が上昇した情報技術関連企業や、被買収が発表され株価が上昇したヘルスケア関連企業などに消極姿勢で臨んだ一方、株価の割安感が強まった企業などに積極姿勢で臨みました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年10月1日～2015年9月10日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2014年10月1日～2015年9月10日）

当期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第１期 2014年10月１日～ 2015年９月10日
当期分配金	100
（対基準価額比率）	0.825%
当期の収益	100
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,016

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド）

米国のＩＰＯ（新規株式公開）市場は世界をリードする市場であり、株式を公開する新興企業数も多数にのぼります。そのため、当ファンドにとっての投資対象が非常に幅広くあるように見えますが、当ファンドでは「数」ではなく「質」をより重視して銘柄を発掘していく方針です。

引き続き個別銘柄選択が運用プロセスの重要なキーとなります。既存の概念にとらわれず、大きく成長するような革新的なビジネスモデルや技術を有する新興企業の発掘に注力する方針です。

様々なシナリオ分析を基に、企業の潜在成長率や業績を適切に予想することに加え、バリュエーション（株価評価）を精査することで、リスク・リターンの観点から見てベストな投資機会の発掘が可能であると考えています。

引き続きボトムアップによる銘柄調査により、イノベーションによって飛躍的な成長が見込まれる企業を中心に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

2014年10月１日から2015年９月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

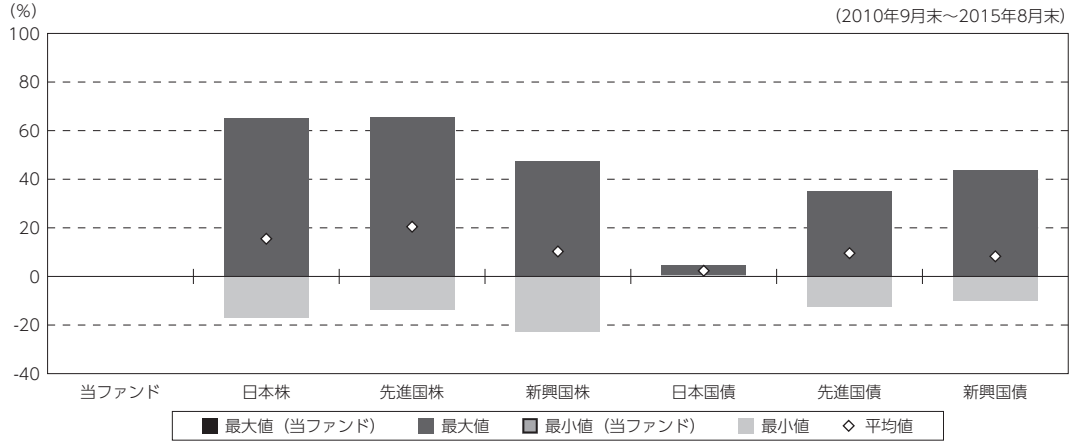
当ファンドについて、2013年６月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月１日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月１日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。（第28条の２、第49条、第54条、第55条、第58条の２）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年10月１日から2024年９月10日までです。	
運用方針	主として、「ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興ＵＳグローイング・ベンチャーファンド	「ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後５年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性等を勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	－	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	－	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 12.7	△ 10.1
平均値	－	15.5	20.5	10.3	2.3	9.6	8.3

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2010年９月から2015年８月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が１年未満であるため掲載しておりません。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込）
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

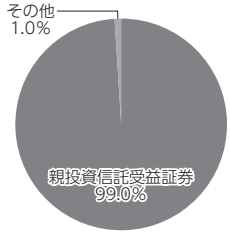
（2015年9月10日現在）

○組入上位ファンド

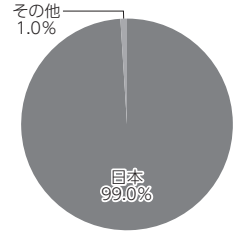
銘柄名	第１期末
	%
ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド	99.0
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

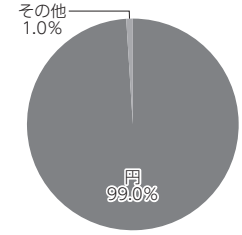
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

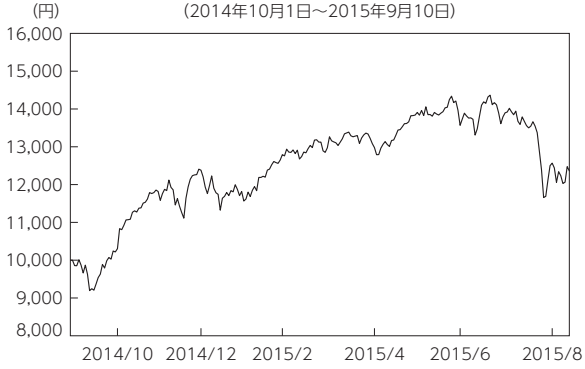
項目	第１期末
	2015年９月10日
純資産総額	47,979,019,707円
受益権総口数	39,928,383,779口
１万口当たり基準価額	12,016円

（注）期中における追加設定元本額は52,092,229,133円、同解約元本額は12,313,845,354円です。

組入上位ファンドの概要

ＵＳグローイング・ベンチャーマザーファンド

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2014年10月1日～2015年9月10日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	11	0.084
(株式)	(11)	(0.084)
(b) 有価証券取引税	0	0.001
(株式)	(0)	(0.001)
(c) その他費用	2	0.016
(保管費用)	(2)	(0.016)
合計	13	0.101
期中の平均基準価額は、12,661円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

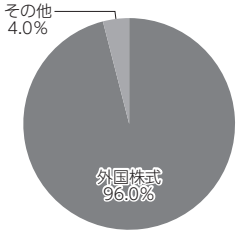
【組入上位10銘柄】

(2015年9月10日現在)

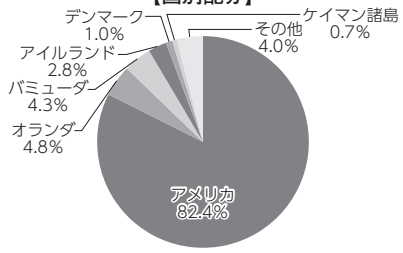
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	FACEBOOK INC-A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.2
2	QUINTILES TRANSNATIONAL HOLD	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.8
3	ZOETIS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.4
4	VANTIV INC - CL-A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.8
5	KRAFT HEINZ CO/THE	食品・飲料・タバコ	アメリカドル	アメリカ	3.3
6	VOYA FINANCIAL INC	各種金融	アメリカドル	アメリカ	3.1
7	MALLINCKRODT PLC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アイルランド	2.8
8	NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDIN	消費者サービス	アメリカドル	バミューダ	2.7
9	SPRINGLEAF HOLDINGS INC	各種金融	アメリカドル	アメリカ	2.7
10	NXP SEMICONDUCTORS NV	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	オランダ	2.6
組入銘柄数		55銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

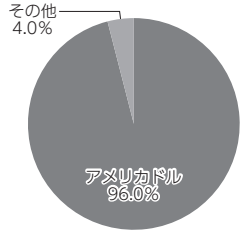
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○東証株価指数（TOPIX、配当込）
当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）
当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債
当指数は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）
当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。